

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	★	単位 1
科目コード 980010	科目名 特別講義 I		授業期間 通年

担当教員(代表) : 早渕千加子他担任	共同担当者 : 1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増 6-田中・7-山根
---------------------	-----------------------------------------------

科目概要(教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)	
・ファッション業界の各分野において幅広い知識・技術を修得すると共に、各自の専門性を考える動機付けを目標とする。 ・レギュラー授業で包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する。	

【授業計画】

- マーケットリサーチ (1コマ)
波多野 春美 先生
- トータルコーディネーションとは・・・ヘア・メイクについて (1コマ)
夏目 幸恵 先生 斎藤 房枝先生
- コンピュータグラフィック・・・ポートフォリオ作成 (3コマ)
高崎 利々子 先生
- マーチャンダイニング・・・ (1コマ)
未定
- ファッション業界について・・・アパレル業界の現状について (1コマ)
未定
- 日本の装束・・・着物の一般知識・着装コーディネート・着付け (3コマ)
伊丹 宗友先生
- 歌舞伎鑑賞オリエンテーション (1コマ)
窪寺 祐司 先生
- ニッセンケン安全服・・・子供服 (1コマ)
滝口 順司・竹中 直 先生 吉村 とも子先生
- 下着の知識・・・下着の歴史、役割、サイズ、取扱いについて (1コマ)
増田 亜紀子 先生 小林 知美先生
- ニットデザインについて (1コマ)
未定
- パターンナーについて (1コマ)
依田 聖彦
- 学生生活について (2コマ)
野町 一成 先生

評価方法・対象・比重

評価基準: 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

プリント他

授業の特徴と担当教員紹介

下着メーカーによる下着の知識の講義、品質評価センターによる安全服(子供服)の講義、企業での企画経験によるマーケットリサーチ、マーケティングの講義、企業の社長によるマーチャンダイジングの講義、ブランドデザイナーによるファッション業界の現状についてやデザインについての講義、着物デザイナーや舞台企画企業による日本の装束や歌舞伎の知識解説や着装実習、パターンナーによる企業におけるパターンの解説など、企業の現場で働いている方々より、直接講義、指導を受ける授業を実施

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12101	科名 ファッション工科基礎科1年	単位 1
科目コード 904510	科目名 キャリア開発 I	授業期間 通年

担当教員(代表)：早渕千加子他担任、
森 薫子、井浦 つくし

共同担当者：1-大津・2-石井・3-池端・4-塚崎・5-徳増
6-田中・7-山根
森、井浦

【科目概要】

- ・人材育成のための講義と進級に関する講義で構成する。
(キャリアに関しては別紙参照)
- ・新しい環境の中で社会人と学生の違いを認識し、将来の進路を考えるきっかけを作る。また、コミュニケーション能力を高め、自分という存在について考え成長できる『人間力』の育成を目指す。
- ・各自の適性を把握し、進路について考え将来の方向性を決める。

【授業計画】

キャリア開発 I 後期集中7コマ
別紙参照

オリエンテーション2コマ
進級相談・上級教室見学5コマ

評価方法・対象・比重

評価基準： 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

キャリア：プリント

参考図書

なし

その他資料

各種参考資料他

授業の特徴と担当教員紹介

企業の人事部での経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

企業の社員研修企画・インストラクター実務担当等の経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、人材育成、コミュニケーション能力アップ、人間力の育成を実施

記載者署名欄 早渕 千加子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12612	科名 ニットデザイン科2年		単位	2単位
科目コード 201800	科目名 ニット概論		授業期間	(通年)

担当教員(代表)：近藤 幹也

共同担当者： 下村 みち代 御田 昭子

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を学習する。将来、デザイナーとして必要な、商品企画や物づくりのための、幅広く体系的な見識と技量の養成を目指す。

具体的には、主として、ニットの代表的な商品である成型セーターの工業品としての「物づくり」に必要な、各段階での技術的知識及び管理方法とそのいろいろな実践的な応用方法を習得させる各論重視の教授を行う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業は、講義を基本とし、その主要内容は次の通りとする。

1. ニットの基礎知識(4コマ)

- 1) 編地と織物及び特性
- 2) 編成の原理
- 3) ニットの構造及び分類
- 4) ニットの用途及び代表的な製品セーターの解説

2. ニット用糸の解説(3コマ)

- 1) 糸に関する一般的な解説
- 2) ニット用糸の必要事項、(編成ゲージと番手、番手のいろいろな計算法及び演習、斜行)

3. ニットの主要素材(4コマ)

- 1) 素材の分類
- 2) 主要素材原料の解説
- 3) 素材の染色及び加工処理(染色の方法、染料、色に関するトラブル、化学的及び物理的加工処理法)

4. ニット素材及び製品の染色と加工(4コマ)

- 1) 原素及び糸などの染色(染色の方法、染料、色に関するトラブルなど)
- 2) 原素及び糸の化学的及び物理的加工処理法など

5. 編機(2コマ)

- 1) 編機の種類と分類
- 2) 編機のゲージ
- 3) 編機の技術確信ポイント
- 4) 主要編機の編成方法と特徴

6. 編成(3コマ)

- 1) 適正ゲージ
- 2) 成型編の方法(主要成型編法、休止編法と無縫成型編の原理など)
- 3) 主要付属部品の編成法

7. 編地(4コマ)

- 1) 組織及び分類
- 2) 主要組織の解説
- 3) 組織図の解説及び演習(編地の分解、組織図の作成)
- 4) 主要編地の特徴

8. ニットの縫製(3コマ)

- 1) ニット縫製の特徴
- 2) リンキング縫製とその品質管理

9. ニットの整理仕上げ法(3コマ)

- 1) 整理仕上げ法とその分類

10. 工場及び展示会などの見学

評価方法・対象・比重

試験 80 % 出欠 20 %

主要教材図書 改訂版「ニットの実用知識」 文化ファッション大系 工業ニット

参考図書 随時、「ニット生産概論演習」、及び英訳資料「衣料科学技術」(原書: Clothing Technology) など。

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

研究機関において織物、ニット分野での試験、研究、指導事業に従事した経験をもとに、使用素材や作成方法など、ニット全般にわたる商品と技術について、基礎的な知識を講義する。

記載者氏名 下村 みち代

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード 12612	科名 ニットデザイン科 2年		単位 1
科目コード 501610	科目名 色彩計画 I		授業期間 後期

担当教員(代表) : 天野豊久	共同担当者 :
-----------------	---------

教育目標・レベル設定など
1年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、ファッションデザイン、コーディネーションにおいて計画的に行う色彩活用の技術や考え方を学習する。

【授業計画】		
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
1. 導入	導入 色彩のはたらき	〈講義 1コマ〉
2. 概論	産業と色彩 産業における色彩の役割 流行色のしくみ	〈講義 2コマ〉
3. ファッションカラーコーディネーション	色相・トーンによる配色 ファッションカラーコーディネーション トーン・オン・トーン／フォ・カマイユ トーン・イン・トーン／コンプレックスハーモニー 基調色と配合色	〈講義および演習 4コマ〉
4. イメージと色彩	ファッションイメージと配色 色彩の心理的効果／色の連想・象徴 色彩によるイメージの表現	〈講義および演習 3コマ〉
5. 色彩計画	カラーデザイン① コンセプト、テーマの策定 カラーデザイン② イメージ構築、カラーパレットの展開 カラーデザイン③ カラーバリエーションの展開	〈講義および演習 5コマ〉

評価方法・対象・比重
S・A～C・F評価 評価基準: 学業評価 70% 授業姿勢 30%

主要教材図書
文化ファッション体系服飾関連専門講座9 『服飾デザイン』(文化服装学院編／文化出版局)

参考図書 特になし

その他資料 Color Chart, ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介
色の知識や実用的な活用術のコンサルタント、解説等を行っている教員による授業である。1年次『服飾デザイン論』で学習した色彩の知識を基礎とし、ファッションデザイン、コーディネーションにおいて計画的に行う色彩活用の技術や考え方を指導する。

記載者書名欄 天野豊久

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12612 科名 ニットデザイン科2年	単位 1 単位
科目コード 904520 科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間 後期 ()

担当教員(代表) : 飯島 一敏	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- 志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う
 - ・企業職種研究を通して、仕事の面白さを考え、希望する企業や職種がイメージできるようになる
 - ・面接練習などを通してプレゼンテーション能力が高まる
 - ・筆記試験
- 育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

【具体的な内容】

1年後期に学んだキャリア開発をベースに、就職活動に必要な力と能力「総合的就職力」を育成。

具体的には、①基本マナーと好感を与えるコミュニケーションスキル、②PDCAサイクル、③企業・職種研究などの就職活動の基本を踏まえつつ、更に以下2点を強化。

② プrezentation能力 ②筆記試験対策

あわせて、企業研究・職種研究を通して「仕事の面白さ」を発見し、志望する就職先や職種を見つけ、内定するために必要な力は何かを考え学び実践。

これらの「総合的就職力」を、講義+ワーク+実習+SPI対策を通して身につけさせる。

後半では、履歴書やエントリーシートを書き、模擬面接(集団・個人・グループディスカッション)も行う。

【評価方法】

受講態度(個人ワーク及びグループワーク・プレゼンテーション実習) 70%+レポート・課題 30%

主要教材図書

- ・キャリア開発 就職対策(第9版)
- ・レジュメ

参考図書 SPI対策本

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業の人事部での経験やキャリアコンサルタントとしての経験をもとに、1年次に学んだキャリア開発Ⅰをベースに、就職活動に必要な力と能力「総合的就職力」を育成する。

記載者氏名 飯島 一敏

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12612 ニットデザイン科 2年	単 位 2単位
科目コード 504100 グラフィックワーク基礎	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 西村元良	共同担当者 :
-----------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します) 幅広い分野での代表的なグラフィックソフトの基本的な操作をマスターしてコミュニケーションの手段としてプレゼン用の資料と個人デザイン能力の向上を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> CGを使用したデザイン画の基本制作とCG活用術 ドロー系ソフト/Illustratorの基本操作 ペイント系ソフト/Photoshopの基本操作

【授業計画】			
コマ	内 容	コマ	内 容
1	Illustratorの基本操作の習得 1-1	16	Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-3
2	Illustratorの基本操作の習得 1-2	17	Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-4
3	Illustratorの基本操作の習得 1-3	18	Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-5
4	Illustratorの基本操作の習得 1-4	19	Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-6
5	Illustratorの基本操作の習得 1-5	20	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-1
6	Illustratorの基本操作の習得 1-6	21	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-2
7	Illustratorの基本操作の習得 1-7	22	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-3
8	Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-1	23	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-4
9	Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-2	24	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-5
10	Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-3	25	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-6
11	Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-4	26	Illustrator & Photoshop エディトリアルデザイン 4-7
12	Illustratorの操作 衣服製品図の制作 2-5	27	後期試験 CG手法の習得確認
13	前期試験 トレースの習得確認	28	
14	Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-1	29	
15	Photoshopの基本操作 画像処理・加工の習得 3-2	30	

評価方法・対象・比重
試験(40%)、課題制作物(40%)、出欠日数(20%)の比重で行う

主要教材図書	グラフィック マスター ブック
参考図書	
その他資料	筆記用具、USB2.0 フラッシュメモリ 2.0 G 以上 (推奨)、ファイルホルダーA4サイズ

授業の特徴と担当教員紹介
コンピュータープログラマー、CGデザイナーとして様々なデザインを手掛けてきた。この経験をもとに、代表的なグラフィックソフトの基本的な操作をマスターさせ、コミュニケーションの手段としてプレゼン用の資料と個人デザイン能力の向上を目指す授業を実施

記載者氏名 西村元良

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12612 科名 ニットデザイン科2年	単位 2単位
科目コード 940105、科目名 企業・学内研修a・b（選択） 940106	授業期間（集中）

担当教員（代表）：下村 みち代	共同担当者： 八木原 弘美
-----------------	---------------

概要（教育目標・レベル設定など 200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

企業での職場実体験を通して、職業人としての心構えを育てる。

研修を受けることにより、現在学んでいる事柄の必要性を理解し、今後の学習意欲の向上につなげていく。

企業研修先としてはアパレルメーカー・ニットアパレル商社・OEMなどの企画部門やニット製造部門など。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

研修先：
・アパレルメーカー、ニットアパレル商社、ニットアパレル製造工場などの企画部門
・学内での研修

研修内容：内容は各受け入れ企業により異なる

評価方法・対象・比重
出席状況・レポートによりP評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

各企業において、ファッショング産業界の各分野において実際に職業体験を行う。

学内研修においては、各企業やアパレル業界で働いている方々より、ピンワーク実技実習、商品企画カラー戦略、OEM講義、ディスプレイ実習など、直接講義、指導を受ける授業を実施

記載者氏名 下村 みち代

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コド 12612	科名 ニットデザイン科 2年	単位	1単位
科目コード 980020	科目名 特別講義Ⅱ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 下村 みち代	共同担当者 : 八木原 弘美
-------------------	----------------

概要(教育目標・レベル設定など 200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します) 専門教科に関連し、より知識の充実をはかる集中授業、および一般教養を深める集中授業。

【授業計画】
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先
1. 素材の知識 糸(素材)に関する様々な知識を糸商からの実際のサンプルを通し解説。現場の生の声を聞く (丸安毛糸株) 松井 裕作氏) 1コマ
2. 丸編機におけるカットソー (マレイ有限会社 西川 真令先生) 3コマ
3. 商品ディスプレイの基礎知識 ショップ実務(川井 佐江子先生) 1コマ
4. 卒業生からのアドバイス ニットアパレル業界について (浦 豊氏) 1コマ
5. 卒業生からのアドバイス ニットアパレル業界について (伴 真太郎氏) 1コマ
6. ポートフォリオについて (吉田 康成先生) 2コマ
7. バテンレースについて (森 さち氏) 2コマ
8. ニットのダーニングについて (野口 光氏) 1コマ
9. 帽子について (山口 祐子先生) 1コマ
10. カウチンセーターについて (牛島 寛興氏) 2コマ

評価方法・対象・比重 出欠状況によりP評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 デザイナーブランドの丸編縫製業務を行う企業より丸編みカットソーについて、ニットブランド企業よりカウチンセーターについて、糸製造メーカーより素材の知識、ニットメーカーよりニットアパレル業界について、個人で制作活動を行う作家よりバテンレースについて、ニットデザイナーよりニット製品の補修方法であるダーニングについてなど、専門教科に関連したテーマで、さらに知識の充実をはかるとともに一般教養を深める集中授業を展開。

記載者氏名 下村 みち代

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12613	科名 ニットデザイン科 3年	★	単位 1
科目コード 600900	科目名 ファッションマーケティング		授業期間 半年

担当教員(代表) : 太刀川 馨子

共同担当者 :

概要 (教育目標・レベル設定など 200字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 常に変化を求める熾烈な競争のもと、市場から得られた情報に基づき、将来を予測することは、企業にとって最も重視すべき問題の一つであり、マーケティングはそのような一連の作業を顕在化させる一つのツールでもある。本講義では、マーケティングに関する基本的な考え方を学ぶとともに、マス媒体を含むクロスメディアマーケティングの考え方を習得することで、与えられた環境や状況に応じた戦略立案に関する理解を深めることを目標としている。また グローバルな視野を持ち、世界へ向けて これから 私たち自身、日本が どんな戦略を持って仕掛けていくべきか 考察、挑戦していくような人材育成を狙いとする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	マーケティングの基礎概論		
2	マーケティングの戦略とは?		
3	市場調査		
4	マーケティング的視点からみたリサーチ比較分析研究		
5	商品開発と消費者起点に基づいた戦略①		
6	商品開発と消費者起点に基づいた戦略②		
7	ニット原料の産地&製造生産、日本と海外との比較		
8	ニット製品工場の生産&製造、日本と海外との比較		
9	産地をベースにした ブランド 戦略		
10	”TV&ネットショッピング” 戦略①		
11	”TV&ネットショッピング” 戦略②		
12	”TV&ネットショッピング” 戦略③		
13	”TV&ネットショッピング” 戦略④		
14	”TV&ネットショッピング” 戦略⑤		

評価方法・対象・比重

出席20% +授業態度10%+ プレゼン発表40%+レポート提出30%

主要教材図書

参考図書 “ファッションマーケティング” (同文館出版)、 “U.S.A.M.I のブランディングノート” (トランスクワールドジャパン株式会社)

その他資料 日経ビジネス、 月刊ブレイン、

授業の特徴と担当教員紹介

ニットメーカーでのニットデザイン企画の経験をもとに、マーケティングに関する基本的な考え方を講義し、マス媒体を含むクロスメディアマーケティングの考え方を習得させることで、与えられた環境や状況に応じた戦略立案に関する理解を深める。

記載者氏名 太刀川 馨子

2019度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12613	科名 ニットデザイン科3年	単位	1単位
科目コード 600900	科目名 ファッションマーケティング	授業期間	半年

担当教員(代表) : 太刀川 薫子	共同担当者 : なし
-------------------	------------

常に変化を求める熾烈な競争のもと、市場から得られた情報に基づき、将来を予測することは、企業にとって最も重視すべき問題の一つであり、マーケティングはそのような一連の作業を顕在化させる一つのツールでもある。本講義では、マーケティングに関する基本的な考え方を学ぶとともに、マス媒体を含むクロスメディアマーケティングの考え方を習得することで、与えられた環境や状況に応じた戦略立案に関する理解を深めることを目標としている。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

市場における競争のルールが大きく変わることで、企業が行う諸戦略の変化と共に、マーケティング領域のパラダイムも転換期を迎えており、まさに製造業から各種サービス業に至るまで、従来とは異なった戦略的代替案の再検討が求められる時代に入っているといえる。その意味でマーケティング戦略の考察範囲は、もはや当該領域におけるセクション別活動のみに限定されず、組織戦略や情報システムなど、経営全般へ拡大していくかなければならない段階に至っている。

本講義では、マーケティングに関する基本的な考え方について、あらゆる消費商品全般にまでその考察範囲を広げる一方で、そのような全体像の中から具体的な戦略課題を見出せるように、マーケティング戦略立案過程において調整的役割を果たす メディア効果を補完要因の最小単位として捉えることで、与えられた環境や状況に応じた戦略立案に関する理解を一層深めていくことに主眼をおいています。

【本講義における主たるテーマ】

1. マーケティングの基本概念
2. 商品開発と商品生産、販売までのプロセスと販売戦略
3. 産地(原料と生産工場)の変遷と拡大、グローバル化、日本のものづくりと生き残り。
4. 昨今の販売&消費ツールの変化
5. メディアマーケティング戦略 (TVショッピング、ネット、SMSにおける販売の拡大とマーケティング)

★マーケティングの基本理念を学び、商品開発から生産、販促、販売までの流通生産プロセスの基礎を学んだ上で、メディアをとおしての販促の重要性、戦略方法を ワークショップをとおして実践的に学習する。

商品企画の戦略的立案から その商品をいかに販促強化し、いかに売上を向上させていくか?

また 広い視野に立って マーケット分析を深め、お客様をワクワクさせ、喜んでいただけるか、信頼していただけるブランドにするかを 考察する。 実際の企業事例を上げながら、想定しながら 企画書作成&プレゼン演習を通して、自分で豊かな感性を磨くとともに 実利的能力を高めて より即戦力を養うことを 目標とする。

★常に五感のアンテナをはりめぐらし、何が NEW で 他にない ワクワクする戦略を STORY 立てて考えていく訓練。

★メディア業界(TVショッピング)での企画、生産、販売プロモーションツールについて学び、実際にシミュレーション企画することで 商品の魅力を どう言葉で わかりやすく伝え、買う気にさせるか、思わず買ってしまうよう戦略を立てるか考えさせる。 作る楽しさ=売る楽しさ=お買い物の楽しさ、喜び、“三方得”の商品企画の大切さを学ぶ。

講義方法:講義、リサーチ、図書館資料収集、グループ演習(プレゼン、企画書作成 等)

使用機材: プロジェクター、パソコン

主要教材図書

参考図書 “ファッションマーケティング”(同文館出版)、“U.S.A.M.I のブランディングノート”(トランスワールドジャパン株式会社)

その他資料 日経ビジネス、月刊ブレイン、

授業の特徴と担当教員紹介

ニットメーカーでのニットデザイン企画の経験をもとに、マーケティングに関する基本的な考え方を講義し、マス媒体を含むクロスメディアマーケティングの考え方を習得させることで、与えられた環境や状況に応じた戦略立案に関する理解を深める。

記載者氏名 太刀川 薫子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12613	科名 ニットデザイン科3年	★	単位 3
科目コード 605200	科目名 ニットマーチャンダイジング		授業期間 通年

担当教員(代表)：宮川 夏子 共同担当者：

教育目標・レベル設定など

ニットアパレルのマーチャンダイジング実務の指導と、マイブランドの立ち上げから生産までの実務演習。ニットアパレルに特化した企画、構成、指示書作成などの演習を行い、確実な就職と即戦力になるニット企画プランナー・デザイナー育成を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○前期 24コマ (1回2コマ)

1 マーチャンダイジング概論とマイブランド設定、情報収集と分析
競合ブランドの定点観測毎月提出 ブランドコンセプトに合わせた資料収集と構成

2~6 マイブランドイメージマップ作成、2018AWテーママップ作成、構成表 9月10月11月指導
3つのマップ提出、スタイリング提案3体提出

7~11 月別アイテム展開構成表仕上げ、月別アイテム仕様書作成、2019SS資料収集
構成表提出、仕様書提出、マイブランド発表会

12 仕様書まとめ 工場依頼ポイント、後期実物作成一点サンプル(ニットアパレル演習にて制作)の仕様書作成
※2~12 毎回各種アイテム仕様書作成練習

○後期 16コマ (1回1コマ)

13 マイブランド2019SSイメージマップ

14~19 企業ブランドシミュレーション(ミセス・ヤング・キャリア)
就職を意識した打ち合わせ、構成マップ、指示書作成

20、21 OEMデザイナーシミュレーション

22~25 指示書、検寸、修正
指示書の共有、完成度・スピードを上げ指示書書き

26 マイブランド最終発表・総評(2コマ)
マップから1点サンプル発表を通じて相手へどうアピールするか(1点サンプルはニットアパレルにて制作)
マイブランド一式提出、1年間の作成指示書他資料をまとめたファイル提出

評価方法・対象・比重

課題作品提出物・レポート・プレゼン・提出期限厳守の総合評価 80% 授業態度 20%

主要教材図書

アパレル生産講座⑯工業ニット オリジナルプリント

参考図書

その他資料 ニットアイテム各種

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル企業でのニット企画をもとに、ニットアパレルのマーチャンダイジング実務の指導と、マイブランドの立ち上げから生産までの実務演習を指導する。

記載者書名欄 宮川 夏子

2019年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12613	科名 ニットデザイン科3年	単位 2
科目コード 980030	科目名 特別講義	授業期間 通年

担当教員(代表)：御田 昭子

共同担当者：前田 亜希子

教育目標・レベル設定など

レギュラー授業において抱括できない部分の補足講義及び専門関連・専門分野の知識の習得を目的とし、視野を広め専門家として職業に従事できるように意識を高める為の集中講義。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1、シルバー編み機について (2コマ)
- 2、特殊ミシンの使用法 (3コマ)
- 3、ニット製品の生産 (1コマ)
- 4、トレンド解説 (2コマ) コレクション情報・最新のトレンドについて 年2回 A/W S/S
- 5、デザイナー講話 (2コマ)
- 6、世界のニット見本市について (1コマ) スピンエキスポについて
- 7、グラフィック (4コマ) MD ブランドイメージマップ・A/W シーズンマップ制作とCGによるデザイン画
- 8、ニットのOEM企業 (2コマ)
- 9、ホールガーメントデザイン (1コマ)
- 10、副資材の基礎知識 (2コマ)
- 11、皮革の扱い (2コマ)
- 12、靴下のデザインについて (2コマ)
- 13、原価計算法 (2コマ)
- 14、ニットの品質管理・検品 (1コマ)
- 15、シマセイキ デザインシステムの活用 (2コマ)
- 16、中国におけるニットビジネスについて (1コマ)

評価方法・対象・比重

P評価 出欠、感想文、レポート、製作物の提出による履修認定

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

編機販売・修理を取り扱う企業よりシルバー編機について、レッグウェアアパレル企業より靴下のデザインについて、ニットブランドデザイナーよりニットデザインについて、ファッショングランドディレクターよりニット製品の原価計算法、アパレル企業よりニットのOEMについてなど、レギュラー授業において抱括できない部分の補足講義及び専門関連・専門分野の知識の習得を目的とし、視野を広め専門家として仕事に従事できるように意識を高める為の集中講義。

記載者書名欄 御田 昭子